

給水不足の解消に期待

取水施設設置工事を実施

大和牧場 土別市 長年の懸案解決に道筋か フジヤ住設が社会貢献で



大和牧場での給水取水施設設置工事

土別市のフジヤ住設工業（辻本康行社長）は18日までに、社会貢献活動として市営大和牧場の給水取水施設設置工事を行った。大和牧場では一部の牧区で長年にわたりパドックと呼ばれる水飲み場への給水ができないう状態が続いていた。今回の給水取水施設設置で、その問題が解決できるのではと市などは期待を寄せている。（村山功）

市営大和牧場は、総面積が540㊦ある広大な公共牧場。土別町大和地区の西側の丘陵地帯に広がっており、現在は北ひびき農協（榎本實男組合長）が指定管理者となって牧場の管理・運営を行っている。

5月から10月までの期間、約600頭の乳牛や肉牛を受け入れている。

大和牧場には46の牧区があり、入牧期間中は牧草の状態などを踏まえて各牧区に乳牛・肉牛を移動させている。牧区には全部で27カ

所の水飲み場を設けているが、管理棟から東側となる16牧区に設けている11カ所の水飲み場については長年におたり給水量が不足し、大和牧場の職員らが水をためたタンクをトラクタで引っぱり給水しなければならぬ状況が続いている。トラクタによる給水作業は、その日の気温にもよるが1日2〜3回になるといふ。

北ひびき農協では、給水作業にあたる職員の確保が難しくなってきたこともあり、以前から土別市に対して水飲み場の給水改善を求めてきており、そのことについては市議会でもたびたびとりあげられてきた。土別市は昨年度、給水施設の整備修繕を行ったが給水不足は改善されず、本年度は水源地調査を実施している。その調査結果はまだ出ていないものの、11カ所の水飲み場に給水している水源の水不足が要因となっている。

そこで土別市は、専門知識を有しているフジヤ住設工業に相談したところ、同社が社会貢献活動として給水取水施設設置工事を行うことになった。工事は16日から18日まで行い、11カ所の水飲み場に給水している水源から50㊦ほど離れた湧水に取水マスを設置。取水マスから既存水源まで管を通して、既存水源の給水不足分を補おうというもの。既存水源から水飲み場への通水試験は今後実施することになっているが、土別市経済部畜産林務課は「今回の工事で既存水源の水量確保ができると思定している」と期待をかけている。また渡辺英次市長も「通水試験を行っていないが、これが課題解決に向かえば」と話している。

道北日報

発行所 株式会社 道北日報社
土別市大通東1丁目
電話FAX 23-3108 番
FAX 23-3109 番

おみやげに贈り物に
ラム肉ジンギスカン
いも・かぼちゃもち
セット
羊飼いの家
羊と農の丘観光株式会社
TEL.22-2991